

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

男子		決勝トーナメント(準決勝)			
日時	平成15年8月 24日 (日)		10:50 ~		
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)		Dコート	第2試合	
結果	藤田 (大阪)	21 - 3	57	井川 (秋田)	
		19 - 19			
		19 - 17			
		15 - 18			
74					
主審	玉木 彰治 (富山)		副審	恩地 孝明 (広島)	

【個人トータル表】

藤田(大阪)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	本井 達也	14	1	5	1	1
5	奥野 好弘	8	0	3	2	1
6	竹田 聖弥	8	0	4	0	0
7	記 剣士郎	5	0	2	1	0
8	佐藤 真彦	7	0	3	1	3
9	平井 清貴	24	0	10	4	0
10	北風 智也	2	0	1	0	0
11	大瀬良 厚記	4	0	2	0	1
12	大久保 孝弘	0	0	0	0	1
13						
14	田弘 聖太郎					
15						
16	大水 優太	2	0	1	0	0
17	島田 晃司					
18	丸元 啓生					
合計		74	1	31	9	7

井川(秋田)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	伊藤 真人	17	3	4	0	3
5	伊藤 大地	16	4	2	0	4
6	菅生 俊介					
7	門間 光亮	10	2	2	0	5
8	小武海 高史	4	0	2	0	3
9						
10	鈴木 聖志	10	0	5	0	2
11	森田 真太郎					
12	伊藤 航	0	0	0	0	0
13	畠山 祐輝					
14	工藤 信二					
15	澤田石 力也					
16	三浦 賢利					
17	中道 凌平					
18						
合計		57	9	15	0	17

【戦評】

近畿ブロックとして5年振りにベスト4に進出した藤田と東北ブロックとしては3年振りの進出となる井川の一戦。両チームともにマンツーマン、スピードある攻撃が身上の同じタイプのチーム同士の準決勝。先手をとったのは藤田 #6 竹田のシュートから。井川は昨日の準々決勝対平岡緑戦の負傷で #6 菅生を欠き、リバウンドは藤田が支配する。藤田はリバウンドからの速攻、インサイドで #9 平井が気を吐き、一方的な展開となる。井川は残り1分 #7 門間の3Pが決まるまでノーゴールと大変苦しいクォーターで 21 - 3 と大差がついて終了。

2クォーターの前半も同じような流れであったが、32 - 6 となった残り5分の井川のタイムアウトからオフェンスのリズムを取り戻す。#10 鈴木、#7 門間、#4 伊藤(真)の3Pとシュートを決め 40 - 22 と盛り返して前半を終了。

3クォーターも藤田の勢いは止まらず #9 平井のリバウンドシュートを中心に速いパスワークからのシュートが決まる。井川も3Pを中心に攻めるが藤田の粘り強いディフェンスの前ではなかなかシュートが決まらない。残り3分から #4 伊藤(真)、#5 伊藤(大)の3Pなどで追いつけるがゲームの流れを変えるところまではいかず 59 - 39 でブザー。

4クォーターに入ってもゲーム全体の流れは変わらない。藤田はメンバーを変える余裕ある試合運びで 74 - 57 で決勝進出を決めた。3位となった井川も13人の部員で最終日まで駒を進めてこられたのは、チームが一丸となり日々の練習に精進してきた成果であり、ボールをひたむきに追いつけた姿は大いに賞賛されるものである。

桂 和路(札幌陵北)

【トーナメント戦績】

